No. 75

令和6年8月1日

## 



イベントなどで見かけたら声援よろしくね!

~ Z当地アイドル E-cute 始動~

LINE

₩ 友だち追加

緊急!議員14人アンケート カフェぎかい 一般質問ここが聞きたい! えんがある話

**◆発行/北海道遠軽町議会** 

**◆編集/広報特別委員会** 

定数は無投票選挙を回避する為と5年後の人口減に合わせて1~2議席減らす。町の広い面積の議員活動は各地域の住民対話の機会を増やすその為の議会の改革は進めるべきかと。	Lisite ljupjints 白幡 隆一
全国町村議長会の調査によると1万5千人~2万人の人口規模の町村の議員の平均人数は13.5人であり、現状の16名は多いと考える。町の将来的な財政状況も勘案し、議員定数は削減すべきである。	<sup>あきもと なぉき</sup> 秋元 直樹
人口減で合併後の26名から16名に削減したが、どこまで減らせるのかと思う。議会の機能、構成を考えると現 状維持。各立場の議員数の確保は合議の場として必要。	くろきか たかゆき <b>黒坂 貴行</b>
少子高齢化、人口減少へ向かい、住民ニーズが複雑化する中で、住民の意思を行政に反映すべき議会の役割を果たすには現状維持と考える。今後、なり手不足等を課題とした議論はされるべきである。	<sub>あ べ きみえ</sub> 阿部 君枝
現行16人のままでよい。白滝・丸瀬布・生田原の広範囲の人々の声や、意見を聴き、町政に反映していくためには、地域に根付いた議員の活動が必要であり、定数を減らすと、町民の声が反映されづらくなる恐れがある。	とまっ けいこ <b>戸松 恵子</b>
議員定数2名の減(16名⇒14名。「但し、議員報酬と同時に提案」)。理由:遠軽町における12年後(3期×4年)の人口動態を予測、人口比率に合った定数を提案します。	やまもと さとる 山本 悟
定数と報酬について、セットで考えるべきというのが私の見解です。町の人口は18千人を切り、今後も減ることが予想される中で将来を見据え、16名の定数を報酬を引き上げた上で14名にすべきと考えます。 その上で、今議員のなり手不足が深刻であり、一番の要因は、現行の議員報酬では生活が成り立たないということです。町の将来を担う世代が政治に参画しやすい環境を整えるため、一定の報酬の引き上げを行うべきと考えます。 【注】佐藤昇議員のみ議員定数と議員報酬の意見をまとめて載せています。	さとう のぼる 佐藤 昇

●人口数が近い道内町村の状況:議員定数(令和6年3月末現在)

・遠軽町【人口】17,833人 ・釧路町【人口】18,466人 ・芽室町【人口】17,836人 ・美幌町【人口】17,526人 ・余市町【人口】17,073人 ・白老町【人口】15,299人 【議員定数】16人 【議員定数】16人 【議員定数】16人 の考えを聞いてみました。は、議員定数と議員報酬はどうす。そこで広報特別委員会です。そこで広報特別委員会ですが、の考えを聞いていま報酬の見直しを検討していませば、議員定数と議員

# はこう考える

t とう のぼる 佐藤 登	平成21年の人口23,100人に対し定数18人、平成29年の人口20,483人に対し定数16人、議員一人当たりの人口が1,280人になるので、現在の人口17,800人に相当する14人が妥当である。
やまや けいじ 山谷 敬二	議員数 合併前 (4地域合計)51名 合併当初 (2005年)26名 改選期 (2009年)18名 現在 (2024年)16名 将来はわかりませんが現状のままで良いと思います。
まえしま ひでき 前島 英樹	現状維持!議員自ら身を切るべきとの考えもありますが、議員定数削減は行政改革ではありません。住民の意見を反映することが議会の役割です。そもそも議会とは議論する場で議員が少なくなれば議論は停滞します!
さとう かずのり 佐藤 和徳	削減するべきです。少子高齢化によって人口減少は進行しています。議会は未来を予測してその課題に率先して行動すべきで、まずは議会が新たな考えと行動で人口減少社会への対策を、身をもって示す必要があります。
<sub>わたなべ さゃか</sub> <b>渡辺 清夏</b>	人口割合に合わせて減らしていくべきと考えるが、議会 運営に支障の無い範囲や地域の人たちの要望を聞き取れる 人数は確保すべきだと思う。
いまむら のりやす 今村 則康	今日の議会・議員が果たすべき幅広い役割を考慮すれば、 定数の本来の考え方から乖離した短絡的な定数削減はすべ きではないが、社会情勢・時代背景に鑑み、機能発揮厳し くなるが微減削減は必要である。
たけなか ひろし 竹中 裕志	今後の本町の人口減少や財政負担の軽減などを考慮したうえで、この時機にこそ定数削減の見直しをすべきと考える。議員としての責務と自覚を高め、また各委員会等の構成見直しなどを図り、適正な定数を検討すべき。

【注】あくまで議員個人の考えを原文のまま載せています。

は、それぞれ100文字以内は、それぞれの管してもらいまにまとめて回答してもらいまた、この件に関する町民の皆さんの意見や考えは、11日に、また、5月10日に議員辞職にまかいでお寄せください。ことから、杉本信一議長は公正中立な立た渡部正騎氏についても、11日に議員辞職した変部正騎氏についても、アンケートの対象外としたのアンケートの対象外としたのアンケートの対象外としたいまが、11日に議員辞職した。



報酬は、従来の議会は、年金受給、経営者兼業に支えられてきたが加えて、今後は福祉、教育関係、移住転入者など多様な業種世代の議会構成が近年求められる事から物価、生活給を考慮した制度が必要と思われる。	Lisite lju j lis 白幡 隆一
報酬は現状維持が望ましい。物価高や社会状況の変化により町民の生活は現在厳しい状況にある。そのような中、議員報酬は増額すべきではない。	<sup>あきもと なおき</sup> 秋元 直樹
今はそのタイミングではない。20年間上げられなかったのは社会情勢が要因。今後において地域での賃上げ傾向になれば、課題になる。	くろきか たかゆき <b>黒坂 貴行</b>
議員報酬だけでは生計を維持できないため兼業議員が多いのが現状である。社会保障(年金等)もなく若手議員のなりにくさを誘発していると考えられるが、今後、住民の理解が得られる議論が必要である。	<sub>あ べ きみえ</sub> 阿部 君枝
現在の報酬額は、若い世代(現職・子育て世代)には、 低いと思われる。高齢になり、年金をもらっている世代と 分けてはどうか。若い世代の報酬を多くするようにしたら よいのでは。	とまっ けいこ 戸松 恵子
議員報酬3万円(定数減2名分報酬を定数割)の増額(20万1千円⇒23万1千円)。理由:町村(市は除く)における「議員のなり手不足」の理由の一つである「議員報酬の低額」に対応。以上提案します。	やまもと さとる 山本 悟

- ●遠軽町議会議員選挙の立候補者数
  - · 平成 25 年 19 人 (定数 18)
  - ·平成29年 16人(定数16)無投票
  - · 令和 3 年 17 人 (定数 16)
- ●遠軽町議会議員の年齢構成 (令和6年5月10日現在)
  - · 30 代 1人 · 40 代 2人 · 50 代 1人
  - ·60 代 4 人 ·70 代 7 人 【平均年齢】63.4 歳
- ●遠軽町議会議員の男女別構成 (令和6年5月10日現在)
  - ·男性 12 人 ·女性 3 人 【女性の構成比率】20.0%
- ●遠軽町議会議員に支給される年間の報酬・期末手当の額(令和6年度分)

(予算ベース・千円未満切捨)

- ·議 長 【報酬】3,540 千円 【期末手当】1,526 千円 【総額】5,066 千円
- ·副議長 【報酬】2,820 千円 【期末手当】1,216 千円 【総額】4,036 千円
- ·委員長 【報酬】2,544 千円 【期末手当】1,097 千円 【総額】3,641 千円
- ·議員【報酬】2,412千円 【期末手当】1,040千円 【総額】3,452千円

## はこう 思

	現役世代を専属議員にするならば、平均的な家庭生活を
さとう のぼる 佐藤 登	営める報酬を公務員と民間企業の平均年収にすべきである。民間会社員の兼業を可能とするならば、夜間、土日、祝祭日に開催して報酬は日当制にすべきである。
やまや けいじ 山谷 敬二	低いと思います。遠軽は、政務活動費も取り入れていません、報酬のみです。算定の基準はありませんが、多くの方々が(性別・世代を含め)議会に参加できる報酬に上げるべきと思います。
まえしま ひでき 前島 英樹	難しい課題です!ある程度報酬を増額し、町の将来に危機感を持つ意欲的で若い議員が増えれば!…とは考えるところですが、社会保障もない状況で、若い議員が増える確証も住民の理解を得られる自信もありません。
e とう かずのり 佐藤 和徳	議員報酬は定数とは別の案件なので今は現状維持でいいと思います。けれど今後の町を担う若者世代のために、20代、30代、40代手当、子育て手当等の手当を新たに創設して未来への行動を起こすべきだと思います。
<sup>わたなべ</sup> さゃか <b>渡辺</b> 清夏	増やすべき。全国的、特に町村議員のなり手不足は深刻 化しており、家庭を持つ若い世代でも家族を養える程度の 報酬が必要。議員報酬以外で収入がなければ生活が成り立 たない状態で立候補者が増えるとは思えない。
いまむら のりやす <b>今村 則康</b>	地域のためにしっかりと活動・汗を出して働くことが前提、北海道は全国平均43位、低額・低水準な報酬である。 兼業職の議員は耐えうるが、他の議員は苦労している。住 民の理解を得て、見直しが必要である。
たけなか ひろし 竹中 裕志	現状の議員活動は報酬のみで政務活動費もない。現職議員の構成は副収入ある兼業者か年金受給者が大半である。 若者・子育て勤労世代・専業主婦等がこの環境下で議員活動をするには報酬の見直しは必須課題と考える。

【注】あくまで議員個人の考えを原文のまま載せています。

- ●人口数が近い道内町村の状況:1月あたりの議員報酬額(令和6年3月末現在)
  - · 遠軽町【議長】295 千円 【副議長】235 千円 【委員長】212 千円 【議員】201 千円
  - ·釧路町【議長】397千円 【副議長】317千円 【委員長】282千円 【議員】250千円
  - · 芽室町【議長】306 千円 【副議長】244 千円 【委員長】224 千円 【議員】204 千円
  - · 美幌町【議長】320 千円 【副議長】260 千円 【委員長】247 千円 【議員】237 千円
  - · 余市町【議長】290 千円 【副議長】235 千円 【委員長】217 千円 【議員】200 千円
  - ・白老町【議長】308千円 【副議長】246千円 【委員長】218千円 【議員】207千円



ぎかい」を11月2日に開をお聞きする、「カフェに関するさまざまな意見 会ではまちづくり

## ロプラザで

します。 フェぎかいに分けて開 流から11時2 議会報告へ フラザ2階の多目的室から11時30分までメト議会報告会は、午前10 かいに分けて開催も議会報告会とカ

でロ時行プか すこととし を定 是数と議! 検討 定数や議 決をめざしています。りれば12月定例会ての います。 ため、 L しており、瞬員報酬の 議 会では、 員 た場合 貝報酬を見直ねり、仮に議報酬の見直し、一般では、議員 2ページか には、

や意見もお問めまると思います。町民のおえを担める。 ください。 忌憚の議 議員報酬 見もお聞 のない意見をお寄せ、いない意見をお聞きしたいのいまさんの考えを掲載しましたいののまえが、 ジに各 議

丸瀬布コミセンと白滝カフェぎかいは 際交流センター 方、 加 で

フェぎかいについては、ながら意見交換を行うカお茶やコーヒーを飲み ヒーを飲み

プラザ2階の

今年のカフェぎかいは、丸瀬布コミュニティ センターと白滝国際交流センターで開催しま す

介します。の一部は、

お待ちしています。

ぜひ皆さんのご参

加

を

修室4でそれぞれ行いま午後4時から5時まではンター多目的ホールで、は丸瀬布コミュニティセ 負ら、 4.対瀬布コミュニティセー 午後2時から2m 午滝 ね 開 地域 てよ せられていることか 回は 4時から3時まで、場で開催します。 を求 丸瀬  $\Diamond$ る 布 地域と 声 域 が多 まし。 りますので、ご里々い により変更する場合 か 対応議員について、

ます。

ご理解

願

合も

都

あ合の

談訪が いします カフ 皆さん エ ぎか 人 会場を 会場を 1 で

とができますが、見解や考えを直接 や考えでは 町議会全体とし てはあら 応対した な かじ この点についまで、この点についまか、それが、それがいまるもあいます。 この点に での見れる。 それ 員 個 人 0

おしゃべりしませんか

こののぼりが 今年も目印

会活動の参考に せられた意見は

られた意見は内容を精町民の皆さんから寄 役立てる考えです。 一部は、寄 その後の議会活 寄 本紙面でも紹 動 に査せ

### 合せ

議会事務

います。

ぎか

V



### カフェぎかい開催日程

開催日 11月2日(土)

開催場所と時間

議会報告会

・メトロプラザ2階多目的室 午前10時~11時30分

カフェぎかい

- ・ 丸瀬布コミュニティセンター多目的ホール 午後2時~3時
- ・ 白滝国際交流センター研修室 4午後 4 時~ 5 時

参加料 無料

申込み 不要

カフェぎかいの応対議員

・ 丸瀬布コミュニティセンター会場

佐藤昇、黒坂、竹中、山谷、佐藤和、白幡、 戸松議員

・白滝国際交流センター会場秋元、阿部、山本、前島、渡辺、今村、 佐藤登議員

### その他

- ・議会報告会では、議員報酬と議員定数に関する皆さんの意見をお聞かせください。なお、なるべく多くの方に発言してもらえるよう1人あたりの発言時間を3分程度に制限させてもらいます。
- カフェぎかいでの対応議員は、都合により 変更となる場合もあります。
- カフェぎかいでは、お茶やコーヒーを用意 しますので、ご自由にお飲みください。

### 寄せられた意見の 一部を紹介します

昨年の10月28日に開催したカフェぎ かいで寄せられた意見に対する回答をお知 らせします。今号では、民生常任委員会と 総務・文教常任委員会で取り扱った意見を 掲載します。



キッズメトロの利用料に ついてせめて小学生以下を 無料にすべきでは。 小学生以下を無料にすることが可能な のか、収支なども含め、今後さまざまな 角度から推移を見ていく考えです。



高齢者(特に免許返納者対策として)の足の確保のため、シニアカー 購入のための助成または町で購入 し、貸し出すなどの方策を。

歩行者との事故等の懸念も あり、当面は難しいと考えま す。



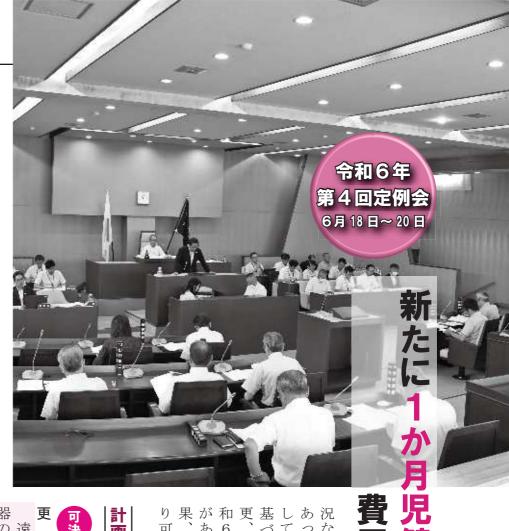


メトロプラザ前にバスの 停留所を設けてほしい。



公共交通で交通弱者が安 心できる対策に積極的に取 り組んでほしい。 地域公共交通計画の策定後である ので、計画の推進を注視しつつ、要 望については今後検討し、改善を 図っていきたいと考えます。





して、 いったほ いなどの!! あ 6 づ 可 それ り年条、度例 度 例 遠 表 軽か、報町、告 ぞれ 慎  $\mathcal{O}$ 彰 重 補 町 告 Þ 立 正 部 部 改 審議 案件 原 表 計 案 彰 繁件と 算に、 画 条例 0 議 とのない。 のなど令変に

Ш

遠 的 軽 発明展過 計 疎 画地 の域 変 持

を源債を過の器変が「実疎空の を変更するものです。源が借りられるよう計画債」と呼ばれる有利な財を実施するため、「\*\*過疎を実施するであ、「\*\*過疎 れの画 X 実疎空の遠施地調更軽 過 調新影響 疎 いとして特別に借るに基づいて行う事業 められる地 や生 لح 備 しは、「過疎ものです。 町病  $\mathcal{O}$ 内院 各の 備 学校 方債 など、 疎 入業計 機

ま日議でに会

れ、 会

か6が

れ月 6 ま 20 月

り、要、語

証、請これ

職 じ

遺応は、

 $\mathcal{O}$ 召 (定 和

会期 集され

で

開

会

例 年

日 18 町

6

第

4

口

遠

軽

政

告

が

あ

り

ŧ

海

道 L

 $\mathcal{O}$ 

派

員け能5 た石

人を派遣したとの行石川県輪島市に町職干島地震で被害を受

主町

長 べから.

提

出

水式会社

田

原

振

社

営

状

派典公社、

はの経式

登

1

月冒

半 17 頭

日 が佐

5 Z

26 町

日 長

ま から

で、

と 援

で

L

業

務に従

書

 $\mathcal{O}$ 

木

すの70 の負担は30%となり・心%を負担するため、|返済額のうち、国: %となり ま町が

> 成 月

するため

### 主 な条 例 制 定 改 正

地 を民部域 変館改公 更の正民 館

るものです。 転に伴い、使用 戸 い瀬 使、地例軽用位域の町 料置公 t 改 定 す 移

### 補正予

可決 一 令 般 和 会 6 計 年 度遠 補 正 予 軽 算 町

(追加する主なもの 付 事業 定額減 税調整 給 付 金 給

合きに にれお国 、ないが として給 ないて、加工が実施 そい 1 付の کے 施 億 差見短額る す 4 る 2 経金場 L 税円

乳幼児健 診 事 業

の伴経う新 意見 栓費です。
が費用を助が

提出者等の充実 可決 化 を求め 材に産資 ボ 資する ン北 業施 海

北海道の森林を呼
への負荷の少ない循環への負荷の少ない循環で 一層進め、ゼロカーボン 一層進め、ゼロカーボン 一層進め、ゼロカーボン 一層進め、ゼロカーボン 省長提るの林北一力社への 庁、出も充・海層あ会の世 各内先の実林道進るを負代 • 強 化 を 玉 循 環 環 現 4 **ため、環境を将名** を将名 で を将名 は ため、環境来 名員 に業施 め策

大 閣 臣 総 理 • 大参西 議 関院 係議

最令 (人) (重) 金改 年度 正 北 等 海

関する意見 出者 白 幡 議 員

児 4

6

万

円

健

診



### 遠軽町表彰条例により、次の方を表彰することについて、可決しました。

区分	住 所	氏 名	公職名または寄附物件	要件
	京都府	酒 井 昭 広 氏	まちづくり振興資金	公共のため30万円以 上の金品を寄附した個 人
	札幌市	佐 藤 孝 之 氏	ふるさと振興資金	
	丸瀬布新町	管 野 伸 一 氏	国内外における人材育成資金	
功労	札幌市	ホクレン農業協同組 合連合会	まち・ひと・しごと創生推進 事業資金	公共のため100万円
	南町3丁目	株式会社渡辺組	奨学資金貸付資金	
	湧別町	遠軽舗道株式会社	まち・ひと・しごと創生推進 事業資金	
	丸瀬布東町	株式会社管野組	国内外における人材育成資金	

1 2 制務 度堅持・ の 復 元 負庫

30 担負

長提の現 出 庁 各内先 大 閣 臣総衆 理 • 大 参 臣、 両 議 関院 係議

議 ま組員 員 し合 と 渡 と佐 た議る 部 員っ氏 選のたの 藤 登 挙 選 遠 辞 に挙軽職 議 はが地 員 行区 が ょ 立山わ広 ŋ 谷れ域欠

委副委広 委員報 長 別 委

長 員 松幡

員 渡戸白会佐前白阿今佐秋会 藤島幡部村藤元 清 恵 隆 和 英 隆 君 則 直 徳樹一枝康昇樹 子一

ようた するい 方 2 5 財 る賃 地 玉 人 日政年 件 12 方 本の度 求財費上め政のげ 全検のほ山 体討政か本 るも実保調求あるも実保調がある。 でのよ議 辞 長 渡

にめた算 対応れて地

2

0

出

者

ま

す

る

で対ら含応れ

成 る辞職 で、 は 15 れ 職 部 人に を 法 職 正 一騎 ょ 許 律 願 みり、 可 にが身議 な L 基 提 1) 上員 づ ま ま 出のか 議 i き 議会 に 会の L 都ら L た。 た。 杉 構 本

委副委議会員長

営委

委副委総成より、より、( 員補 ながし、 当 お、 選 文 更 長 教 L 日 渡 L 各 常 7 部 ま 山山佐今谷本藤村 任 11 委 L 氏 のた。 委 ま 員

悟 徳 康

 $\mathcal{O}$ 結 果 員会。 会辞 Щ 和則会 の職 谷 構に 議

長提機き、出関上 、出関上と民、賃令北先により、出版により、 に求めるもの。 ほか4名 に求めるもの。 ほか4名 海 道 地 海 方最 道の 労 低 賃働 金局

方財 を財水 政 めの る充実

務

令和6年 第3回臨時 5月10日

化

見

めや、か 見算 提 か子など 出者 書 確 以 下学 保 級 拡 充 など教 を 佐 求 すきか和 め るめ3議 る 育 意 予

教 義務教育費品がな教育を実品である。 育 費 玉 庫 負 無現のほ藤 制 度義た細名員

省長提国教以勤2の 出に育下・ヘ堅持、出に育子学多の特、 庁 各大 め算級」 閣 復 級忙 総 衆 化元 も確の解 理 • 面 参の保 大 実現なり、消滅には、対職員は一般には、対職員は一般には、対策を対している。 教負 臣、護 • 議 拡 院 充 関 ど、人超/ 係議 を

えんがる議会だより 令和6年8月1日号

### 全会一致により可決した議案(同意や採択等含む)

・ここでいう全会一致とは、出席議員の全員が賛成した場合を指します。

### 第3回臨時会

- ・ 専決処分の承認を求めることについて (令和5年度遠軽町一般会計補正予算 (第13号))
- ・ 専決処分の承認を求めることについて (遠軽町固定資産評価員の選任)
- ・ 専決処分の承認を求めることについて (遠軽町税条例の一部改正)
- ・専決処分の承認を求めることについて(遠軽町都市計画税条例の一部改正)
- ・ 専決処分の承認を求めることについて (遠軽町国民健康保険税条例の一部改正)
- ・専決処分の承認を求めることについて(令和6年度遠軽町一般会計補正予算(第1号))
- ・ 工事請負契約の締結について (令和6年度岩見通歩道整備工事)
- ・工事請負契約の締結について(令和6年度公共駐車場整備工事その1)
- ・工事請負契約の締結について(令和6年度東小学校長寿命化改修工事(建築主体))
- · 令和6年度遠軽町一般会計補正予算(第2号)

### 第4回定例会

- ・ 表彰について
- ・ 瀬戸瀬西町外5辺地に係る総合整備計画の変更について
- ・遠軽町過疎地域持続的発展計画の変更について
- ・北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- ・ 遠軽町地域公民館条例の一部改正について
- ・遠軽町町税等の滞納に対する制限措置に関する条例の一部改正について
- ・ 遠軽町公共下水道条例の一部改正について
- ・ 工事請負契約の締結について(令和6年度公共駐車場整備工事その2)
- ・工事請負契約の締結について(令和6年度白滝支湧別地区営農飲雑用水整備工事)
- · 令和6年度遠軽町一般会計補正予算(第3号)
- · 令和6年度遠軽町水道事業会計補正予算(第1号)
- · 令和6年度遠軽町下水道事業会計補正予算(第1号)
- ・ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
- ・ 令和 6 年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- ・地方財政の充実・強化を求める意見書
- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充を 求める意見書

### 賛否が分かれた議案

なし



### 戸松 恵子 12 議員

子ども医療費の無償化について ほか1件



### 白幡 隆一 13

地域猫対策についての町の考えは ほか1件



### 和徳 佐藤 議員 14

公務員の兼業を促進していく考え は



### 佐藤 昇 議員 15

地域からの義務教育学校化の要望 にどう向き合うのか



### 阿部 君枝 16

再度HPVワクチンのキャッチア ップ接種の啓発を

ここが聞きたい!

問と答弁がかみ合うように全文通告制を採っ

質

回数に制限なく質問時間を一 なお、再質問からは一ています。 しています。 問一 答方式で行い、 議員30分以内と

を町長などに問い質しました。まざまな課題について、現状や 考えを聞いたり提案をしたりするもので、 対し、町政に関するさまざまな課題について、 問には5人の議員が登壇し、令和6年第4回町議会(定 般質問とは、 議員が町長や教育長などに 現状や今後の方向性 (定例会) 政に対するさ 0 般質

町

## 子ども医療費の

### 無償化につい て

( 子ども医療費を無償化する 予定はありません

の問 ています。 北海道全体の問題になっ 占 題ではなく、 齢化は遠軽町だけ 人口 減少や少子高 日本・

ます。 る町づくりが重要と考え を産み・育てたいと思え 化」で、 「子どもの医療費の無償 切実に求めている声 のアンケートで、 軽町の子育て世代の方 私が個人的に 安心して子ども !集め 今一番 た遠 は

IJ 料化に取り組んでいます どもの医療費の補助 少に歯止 て支援の一つとして、 多くの せん 今後遠軽町も人口減 取り組む予定はあ めをかけるため 市 町 村 で 子 . 育

> 期 から高: 期 間 12 に おける子育て 校卒業まで ついては、

り、 ます。 の期間 妊娠 て行うことと考えて 施策は、 度や少子高 支援事業に 本 関係団体と連携して 来、 ととらえ、 医 国が責任をも 取り 一齢化に対する 療 費 組んで 0 子育て 助 成 お 0 制

るため お町 高 療と教育 んる予定 ŋ の使 校を守ることが 人口 遠軽厚生病院と遠 命 医 減 が重要 は 療 であると考えて 少 あ 費 町 を ŋ  $\hat{o}$ としては医 食 ノませ 無償化を な柱と考 11 遠 軽 止 ん。 軽 8

> *t*= 遠 軽 オホ てい で実施していないのは、 施するようになり、 での医療費全額助成を実 問 置戸や斜里も18 町 ない町村は 遠 軽 ツク管内で実施 質問をしたとき、 私 の が過 4 の 3 となりま 去 町 置戸、 1= でし 同 管内 歳 た斜 L

では について、どのように受 ていますが、これらの声 うな家庭を救ってほ 子の場合、 の波に収入が追いつい うらやましい」「値 もを病院に連れていけて がお金の心配 け止めていますか。 い」という声が寄せられ で受診が増える。そのよ ません」「持病がある 私 が集め 「他の自治体の 心配もあるの たアンケート 子ど 上げ )友人 7 し

す。

玉

強く要望

して

い

ま

すくて、 私のところには、 遠軽町は住みや 子育てもしやす

> という声が届いています い」「医療があって安心」 戸松議員に届いてい 進めていきたいと思って る声も勘案しながら今後 、ます。

が、

### アミリー サポ ŀ

ませんか。 料を補助することは く保護者のために、 の か は、 Ξ で、 しかし、 っています。 IJ 子育て世帯 Ī 子どもを預けて働 託児・一時預かり 事業として「ファ サ ポート 使用料が で大変助 事 でき 使用 高

こ の たっては、 事 ·業 の 利 用 報 酬

ま

代等を依頼会員から提 しています。 会員に直接支払うことと ほ か、 交通費やおやつ 供

村 の 業所が実施する一 しての補 サー た額であり、 報酬額 現在のところ考えて 合や受益 報酬額や ビスの料金 は、 助 りは、 者負担 町 近 報 内 民 民 間 酬 を 時 0 実 との 12 勘 間 面 預 施 対 案 か カコ 事 町



令和6年8月1日号

1 2

えんがる議会だより

### 地域猫対策についての 町の考えは

町長~町として自治会に対して

注意喚起しています

きますがそのあたりの形 えさやりに関わる 住民トラブルを聞

今年度は今のとこ れていま います。 禁止な れしての )地域猫 を把握 の猫 す。 ランテ お b, 必 て 要 ま 1 地 からも行政が関わ 寸 域 せ 体 ア 猫活動  $\mathcal{O}$ は 情 個 一人で数名 報 ば、 は 把

玉

町として北

海

道に

旧

ムページ等で

周 木

熱中症

の危険を

7

け

れ

ば

知する考えは。

のではないですか

解が大事だと考えます。 てもらうしくみづくりに この活動を住民に理解し いくためには、 人たちが今後も継続して ついてどう考えますか。 町内で活動している 性を示してい 住民の理 ま

問

熱中症を防ぐため

公共施設をクーリ

ど自治会に注意喚起を行

②えさやりの

\_ 件

せ

5

ネッ 獣医師 禁止等を広報で周知して といくつもの てきた活動 引き続き、 会、 地 2~3年 ワ 域 ] 猫活 ボランティア で、 ク 関係者との が 必 えさやり 自治会や で広まっ 動 動はこの 要で

クーリングシェル ターは、危険な暑 さから避難できる 場所として市町村 長が指定する施設

現時 る考えは 点で、 指 定

端な高 認識 町内の既 7  $\mathcal{O}$ んが 対 増 してい 策を講じる場合は、 加 温時 は 本町でも今後、 存施設 否定できない ます。 の発生リスク などの状 ありま 町とし . لح せせ 極 す

> 関と 算 0 0 確 調整など 保 や関 係

> > るところです。

知啓蒙に取り組

W

で

0

を知らしめる必要が からも、行政がこの 活 活動 ある 観 動 点 りながら啓蒙活 海道とも れ カ てお 0 たも なども最近 コンタクトを取  $\mathcal{O}$ アニウェ  $\mathcal{O}$ 動 は をはじ 設 護

ル北

りません。

立 セ

さ

あ現が

3時点で指定する予

定

は

必要となることか

対策

への

指

に対

② 国 針

問

① 町

^

の

外猫 の

の

7

1

ま

す。

(3)

町

内

 $\mathcal{O}$ 

ボ

を作るの

が

地

域

す。

住民環境問

題 猫

の

町の対応、

③ 町 内

ランティアの活動

しているのか伺

① 5

年度は

1

件

北 関 海道はこのこと L て 動 きが 遅

クー リングシェ ル ターに 考えます。 きかけ進め

考えています。 況に応じて検討 今年の 夏 高 た 11

放は考えられません 急避難のために施設の が 続 いた場合、 温 か 開 緊

えはありませんか。

民に周知し利活用する考 ングシェルターとして住

لح 日 限界は 避 ことも必要です。まず 周知も大事ですが、 らうために、 えられますが、 ル等 現 在  $\mathcal{O}$ 周 活 はそ

本町では、 防 災

自分で熱中症予防や緊急 |難する考えをもって ひとりの意識を変える あると考えます。 知にも 旧用も考 ひと ŧ は

りゅういち **隆一** 議員

えんがる議会だより 令和6年8月1日号

町

## の兼業を

## 促進 していく考えは

考えは.

ありません

の

兼

業を促

進してい

< 職

され

て

い

ま

す

の

で、

町

長 5 取 り組みとして検討していきます 地 域 社会に 貢 (献する

保持等 正の確 採用されています。 能 近 率 につい 保、 の の ため、 多様で柔軟な働 確 方 保、 職 公 1務員 ては、 職務の公 許可 の 公務 の が す。 や副 域 間 ま 希

でも活動 運動等として、 ターや基幹産業 労働 社会 た 業が 政策におい の 促進され ⊐ | 方公 ディ 孫員 公務以外 <u>へ</u>の て 7 ネー )貢献 いま ŧ 兼 業 地

少化等を背景に、 民

することが期待 受け、 より、 地位を兼ね 7 酬を得るこ

在、 場合などを審 ているところであ 別な利害関係が に支障がないことや、 います。 る際 本 遠 軽 町 では、 町 は 消 職務の遂 防 查 生じ 寸 L より、 判断  $\mathcal{O}$ を 団現 な 許 L 特 行 可

や人口減少に伴う人材

方へのニーズの

高

ま

など、 献 浜 る自 中 町 道内の自治体で 目 町 で「ト で「コ あ とし らかじめ地域貢 可 基準 があることは 7 た兼業に ンブ干  $\vdash$ -を定め ·栽培」、 は、 沼

ている

とは ることや、 営利 者の 条の て 禁止 は、 許可 企業 規 さ 定に 地 報 方 業を促 握 のため、 して

なけ

れ 命

ば 権 38

員

法第

9 方

11 公

務

員

兼

任

ところです。 的とした職員 てすでに検 いては、 進して いま 地 討  $\mathcal{O}$ 域 い町 兼業に く考えに 貢 職 献 7 員 を 0 目 兼

の規定により、には地方公務局 施 社の 優先としたうえで、 職 れ 専念する義務」 きます。 会に貢献する な 務に専念することを て 検討にあたっ 有無を含 V) ますの 範 囲に して、 り、 で、 8 員 お 今後 取り が 検 法 1) 課 職 討 ま 第 7 支障 ず ŧ 地 せ 務 組 35 職 2 域 最は 12 5 条 実 員

町職員が兼業をする場合、町長の許可を得る

ことが必要で、現在、町消防団の団員として

7人、予備自衛官として1人に兼業を許可し

### **議会を傍聴してみませんか?**

として7人、

備

眉衛官

として1

人、

許 予

可

L

て

るところです。

定例会は、年4回(3月・6月・9月・12月)、臨時会 は必要に応じて随時開かれます。

今、どのようなことを話し合い、決めているのか。 子や孫の未来はどうなるのか。その答えはここにあります。



### 地域からの義務教育学校化の 要望にどう向き合うのか

教育長〜地域の実情を考慮しながら

なスケジュー

ル

などはど

定も

含め

て、

具体的

ように

き考え

7

い

ま

す

丁寧に協議を進める

ていますか

今後

の

協議

の

場

の 討

説

明や

協議などは

行わ

を行い、

要望提出者

の 義 務 教 は

緩  $\mathcal{O}$ 和 導 入 B 軟 解 中 消 な 1 力 ノリキ 育学校 ギ 小 分学校高 ヤ ・ツプ ユ ラ

今後

は、

今

月

6

月

丸

布

白

滝

地

域

 $\mathcal{O}$ 

を求める要望書が提 ぞれ義務教育学校 、考えは. 4 年 11 て小中 いに対 問 化 域 和 す か 5 月 な で 寧に 校 化 て、 ② 過 メ いますか。 どのような認識をもって ぼす影響 とによる子どもたちに及 IJ そこで2点 教育長 について「地域と丁 去の 協 ット)につい したい」と述べ 新 育学校化するこ <u>ک</u> は 聞 義務教育学 リット、 伺 記 事 11 たにお ます ては、

い」と答えてい

ます。

時点での

その後、

る考えは」との

問

問

3

年

12

月

定

され

今に

至

つ

て

ま

す。

般

質

白 貫

滝

義 地

務

教

育学校 お

らそれ

年3月には

丸瀬 から、 令 和

布地

白

滝

地

域

令

るも 義務教 果について考えなけ 生徒、 なりません。 育学校が果たす教育的  $\mathcal{O}$ が えた場合、 存続 丸瀬 増 少人数の中 加加  $\mathcal{O}$ 教職  $\emptyset$ 布、 育 には 児童・ 校 員 各 白 至ら が 定 地 0 滝 -で義務教 確 域 設 地  $\mathcal{O}$ な 生徒 気に学校 保さ 立. 域 児 を考 11 n で 童 効 数 た れ  $\mathcal{O}$ 

てい

ますが、

白滝、

丸瀬

布

か

らの要望を受け

て

その後現時点まで教育委

会としてどのような検

方に 定数 児童 ② 教 要望 って タ 一つてい の推 つい ・生徒数及び 育委員会とし ] 1 ての 計、 出 ますが、 0 [者との ません。 検 学 さまざまな 討 校 な 教職員 各地 協 0 ては、 どを 議 あ 域 n

などが によ 年に る 期 専 お け され 的 る 指 ま 導 科 ます。  $\mathcal{O}$ 担 充 任

実

制

育成 校高学年の います。 間 などが 方 関 係  $\mathcal{O}$ リー 子 古 課 どもたち 題 定 ダー 化 き B れ 性 小

て地域 次行 望提 と考えて と丁寧に協 情 がら学校 各 報 小 学校 出 中学校と各 共 者、 の実情を考慮し 有 のあり方に 年 1 Þ 度に ます。 議 保護 情 を進 育 報 委員 者 お 地 交流 1  $\otimes$ 域 • て順 た 会で 地域 0  $\mathcal{O}$ 11 な を 要

すか

期

限を決め

い

ځ

前には進まない

の な

では

でしょうか。

どういう結論

を出

すに

せ

よ、いつまでに結論を出

的にどのようなイメ

で考えているのか、

ま



少人数下での教育的効果も 考えなければならない

ようか。

丁寧な協議

とは、

具

体

応

が

遅

(1

の し 布

で

は

な

い

以上経過.

っ て お で1

り、

対 で

上

瀬

年

3

要 望 滝 書の で1 年 提 出 か か 5 月

> 数を重 段階での結論 定 校関係 ねながら協 の協 議 が 議

ていきたいと考えて 、ます。 地 域や保護 者などと なると 整つ を た お 進 口

えてい

議員

のぼる

昇

## キャッチアップ接種の啓発再度HPVワクチンの

町長〜相談会・講演会の実施など

積極的に進めます

た間に、 は、 チンの 日 誕 方 で みが 生日 あ が で か b の Н LJ つ 差し 平 が 接種機会を逃し Р 接種を勧 ま た す。 V 成 平 定 方 ワクチンの 期 控えられ 20 成 \(\alpha\) 接種 年4 9 対 象 年4月 の め な る取 月 の対 者 か て 1 は た 公 象 IJ で、 لح 15

となりま Н Р ま 3 V れ 回 ワクチンの の 一受け 女性 て 接 な 過 種 1) 去 方 を 1

歳

以

降だと2

か

月ご

旾

年 成

か

6

令

3

の 25

H 年

Р

V

ワク

ることか に っぱ 接 今年度はキャッチ 3 種 低 回 ら期 の でも半年は い の 最 ま 接 限 終年 で 種 が ば で す。 来年 度で か必 要 あ ア 対 3 か

> 間 せ を 内に 者 ち は 接 始 9 種 め 月 ない が ま 間 で لح 10 合 無 1 料 い ま期

を

ば、 す の 示 の で の 再度キャッチアップ 応 など、 が、 しな 個 周 に 対象者に「今年9 等 現 知 別 在、 必 初 は をすべきと考え 通 い」と未 要 町 L 回 あ 接 の 知 町 て 接 やポ 見解を伺 ら 種 い で 種し ゅ の るも は る手段 スター /接種者 3 個 なけ 別 の 接 月 い が の の 搗 完 ま ま れ ま で 対

\*\*\*\*

HPVワクチンの発揮を楽した方に

毎種の機会をご提供します

2024年四末12023年8月日まで

DEFAUTSTE, RANDERS THE CO.

TAPEN L. BERRETE PALERCE APPEAL.

子宮頸がんで苦しまないために

WINTER P.

性についての積極的勧奨 キャッチアップ接 令和4年4月から

ところで ツト 再 12 接 に 毎 ま 勧 た、 奨 年、 種 ょ 開 対 0 ŧ る 1 L 者 を て 12 あ 勧 同 7 遠 行 予 7 9, Н 軽 0 通 奨 封 診 カュ  $\mathcal{O}$ 5 Р 中 7 知 を 票 積 L V 学 昨 た کے い L L 極 た後に 校 個 IJ ワ ま 年 7 本 的 ます。 一度は ク 勧 1 11 別 ] 町 チ る 通 で 授 フ

> ところで ンに 接種 0 1  $\mathcal{O}$ 7 勧  $\mathcal{O}$ 奨 講 を 話 行 を 実 0 た 施

す。  $\mathcal{O}$ Р 実 V 科 施 実 V 接 今 後に 接 医 種 施 種 師 旭 を に関 を Ш 関 お 予 講 医 す 1) 定 す 師 科 る 7 ŧ L 大学 る کے 相 て 講 L 談 た 1 産 会 演 Н 会 ま Н 婦  $\mathcal{O}$ Ρ

進 1) き 8 な 勧 以 ま がら 医 奨 上 療 を  $\mathcal{O}$ ワ 機 実 ように、 関と ク 施 チン す 連 るとと 引 接 携 き を 種 ŧ 続 取 を

ゥ 9 7 割 を防 ル ルスのうちo がんの原E ワクチンは子宮 ぐとされ、 8 因となる 割 から 接 頸 種

> 解を伺います。 ポスター きと考えますが 入りが多い場所に緊急 将来感じてもらえるよう るとされ メトロプラザ等、 は (けておい PVワクチンの 3 この積 回 で9 れていま 掲示などをす 極 万 円 て良かっ 的 な対 す。 ほ 応 ٹے 人 接 町 の た 種 等 の か لح 出 を で か

受けた 間 して千 てもらえるよう、 するなど、 あらゆるこ 進 めます。 人踊 制 ワクチン いと思う人に できませ り 残され とを  $\mathcal{O}$ 会場 接 積 W 種 た で は 極 町 が は 期 啓 لح 受 的 強



えんがる議会だより

総務・文教

### 学校給食の 現状について

町内小中学校の給食の現状を調査

パて

年あ例

米食軽げ

考諭ら・円し円37価校りる・担上行は・る収て てどる産ンちア産・町い利にがの菜みスの現のる 用よ、もでつパ食在担の 穫 で、 つパ食 用 t 在担の で り作の、給物をで り 使 きな きるだけ ガ 小 用 は 7の生育状況などとは考えてい をとは考えていてきるだけ本町小松菜、チンゲルス、鹿肉、は 食用 L か 認 ľ 1 て 6 B ے 食材 いはた と  $\mathcal{O}$ る 11 とし が 量 本 も前 あ が

り年を校

材 求 で

限

た予

 $\mathcal{O}$ 

中で、

0 5

現

状がどうなって

やりくり

など学校

の町給

12 食

価め地

価格の高騰によめてきたが、近で議会では、学で議会では、学

7

町

学 管 校

給

 $\mathcal{O}$ 査 員 現と会

食 調

\*

事常

務任

カコ

L

ること

がい

報 告さ

れ 力

た。

よう努

L

7

れつ

で

まい内

7  $\mathcal{O}$ 

から今れり、パンカーのは、格は、 とる。 、生分のい て、 護の値 者み上、 ののげ本 負値は年 をはいない。対は は

わ児給

上)「黒曜石ウィーク」に提供された

ン

61 献 立 が 登

の立を 日た月 献ど黒給立3い食 イかの27跡話 がメ らを日群題 人の栄 で野内 ]  $\mathcal{O}$ 記 に 出は 提内ジ 1 念 玉 土 変 週 L 宝品わ やさ各た間 て、 がる 教黒れ小 指昨が の論いた中黒黒献がパ。学い曜 か任 6 定年 ž の委献がパ 月 白  $\mathcal{O}$ 議員立黒ン 校献石24れ 6 滝

から提 深などの! 議

せられていたは」「人気がされた給食 食 養 う した議员 も給 れ ż 議員から 給 いった質問食の処 食 ら同  $\mathcal{O}$ に質問がいる献立の「食べ さ 席際 己 負 て は 担 寄は法残喫栄 t

委員会

で立予 くり!! 算 議 文心なおいしい 立立て、調理日 ずの中で栄養な 殴員たちは、 提な 供お L 査 て 員 教限 たは る 給が 諭ら 予算 食 安がれ 現 状を全献た

案を

令 務 和 • 文 6 4 年教 案件に 4 常 口 月 任 開 カュ 委 催 つは提 5 員 Ļ いじ案 6

議計る機間和 展生常任素 民生常任素 民生常任素 23 議関件案か  $\mathcal{O}$ 案件に 会開に催 . 委員 を ら 6 会は、 提 Ļ 0 はじ 案さ 1 月 7 執 め れ行の令

した。 経 6 済 常 任 . 委員 から 会 6 は、 行の令

和

「ジオジャージャー麺」

「黒い献立」を喫食する議員たち

がな子値たと円はのし

上ば4からず 15 現ま

牛円在

て乳値にでは

8.

15 現

t

ŋ

る。

う 3

0

栄養

教 偏

人の

栄養

が

下)「黒い献立」の1つ

経者に

担

し 18 議 関 戦案の説明をは | 計3回開催し を年4月から  $\mathcal{O}$ 案件につ Ļ 提 はじ 案さ 執月  $\Diamond$ 

れ

議計る機間

マを設定-経番査するの 芸員会が立 査するの 自と主は 調 査 的 違 にテー常 を行う

えんがる議会だより 令和6年8月1日号

### もっと遊ぶ場所が増えて、

友友

達達

公園で遊

Š

は

声

ŧ

0

家

で

お

i

Þ

べ

### お買い物ができる場所が増えてほしい

ってま で ・ツズメ よに温 に行っている。 水 きた ル に

0

と思う。

聞

き

手

で 後 遊 や 休日  $\lambda$ で日るは の ?

宿給修 泊食学 研が旅 修お行 がいが 楽し楽 しいしな。み

K 3

ン

•

]

テ 1

スオ

タ

]

K

ナ

ý

スマ タク ドム バナ セキ ツル ンホ ドタ ク ス

がり、 なん・中 もいあ隣に ワっの るの イとはの北 ウンドラン フレゼ、市な イレゼ、市な 市な イできるおtu しゃべりした B ? 遠に 軽は 町たにく はさ 店た

どうですか?

思町 もあ の つ はた

6 1) い

لح

V) . る遠 かす。 るか、 か 軽 らにい 1 いら す ぐに オ た や帰 お 2 友 達 ツ ク t

・いろな け どまるな ろいいやみ ろし、ぱい ったぱく 田 おな な店所遠 りな らをに 軽 遊 う 遠見行かび 軽たつら場6 て出所人 もい 0 さ VI いてが をい ろい少

う遊ぶに、 おじゃ、 はど、 にない。

が局に

う

たちが あるの が とシ 1 才 とか 彐 ツピ L め遠 あ カュ る 軽 ン 0 F お町 グ た 店にも 5 ン がは楽お •

まちの

軽れ 町か ら ŧ 住 2 ず っ た

E-cute (イーキュート)

ご当地アイドル E-cute の9人に、町のこ

とをどのように感じているのか率直に答え

かのん、ここは、ちの、まこ

のあ、かんな、ななか、みき、ゆめ、

さでぶたん災所い いら か 遠 な軽 ŧ は 害 はあって思いま程にずっといてもお父さんもい が少 3 な人 少なないは け 11 ? تلح Ļ まてい 良

てもらいました。

もれいら・すもるおい・住あるま出北。いか母町遊み ても 市 いま いで かな あら っ遠 てこ て軽か

て、 とス越 寂もし 所 キッ が増 ŧ お買いが 少な \ \ \ Š L が場 で 所 0 きが増 場え

お遊とさん 口 にけ と もい 達 辺 な つの行なか 清 で ち家けいと やでなかー きた 夏

えんがる議会だより

令和6年8月1日発行

発行/遠軽町議会

印刷/(株)遠軽新聞社

な私し友キ

0

<u>}</u>

 $\mathcal{O}$ 

9

- 成

c L

u t t ご

 $\mathcal{O}$ 

ころ 遊 が はない ・はもド にあるになった。 らず る所 は かも 7 っ遠 ら毎 ツ لح ク 日 軽 もミ 住に むは

の何ス

V · · 1 うほ 何がか遠 な楽しそうだれの所に行 ŧ の軽 所にず な 11 から 2 だと 0 楽 て住 思う。 しくな 住む む ょ ほ り

な遠 つ 軽 てが ほど しん いな ? 町 に

たくされ 7 W かほ 子 ども L ち が よク引つ

第75号 〒 099-0492 遠軽町-条通北3丁目 編集/遠軽町議会広報特別委員会

ま同 5 U کے な る予定で いぜ女認 当 5 ロ(イーキューヨ地アイドルロチュー です 

Rひ声援を送っ 外たちを見かけ 配できるので、 出演情報は S を送っ け をに内ル子4 S たちが、 たちが、 1 た会際場 参の Ν り加 さ S ごまざ にで で Ļ 上 げ は彼確

今月 令 の表 紙 E 結は、 今年